

第3回中海会議【概要】

H24.8.28 国際ファミリープラザ（米子市）

議事（部会・ワーキングからの報告事項）

（1）中海湖岸堤等整備に係る調整会議（説明者：国土交通省出雲河川事務所）

【意見等】

■米子市長

- ・内水排除は、基本的には堤内地を管理する米子市であるということは十分認識しているところだが、今後、詳細設計に向けて協議をする中で、国土交通省さんのお知恵をいただき、また、強制排除のポンプ等の設置についてもお願いしたい。

■松江市長

- ・大橋川の改修事業が停滞することなく進捗するように、予算措置の面等々、よろしく願い申し上げたい。
- ・護岸堤の整備で、国道（野原地区の国道431号）の整備とあわせて堤防の整備が進められているが、この整備計画の中には、この護岸堤の整備の中で、短期あるいは短・中期で整備箇所を示された箇所が相当数あるので、引き続き事業の進捗についてお願い申し上げたい。

■安来市長

- ・安来湾の中の南十神地区は、年に二、三回床下浸水する町内があり、我々は内水対策の予算を最優先して立てて、内水対策をしようと思うが、ここの湖岸から、いわゆる高潮のときに、逆に河川へ外水が流れ込んでいる。
- ・ここを早く直していただかないと、我々のポンプで内水を中海に流せないということがあるので、これを最優先していただきたい。

■鳥取県知事

- ・上下流の拡幅を優先するということが、今までの議論としては、国と島根県、鳥取県の間で合意事項として、下流の方の中海の堤防高をしっかりととると、その後、流量の拡大を図ることになっているので、その辺を強く申し上げて確認をとらせていただきたい。

■中国地方整備局長

- ・平井知事がおっしゃった、下流を優先的にやって、その後上流側という話は、毎回承っている話で、認識は全くそのとおり。
- ・今後もその方針に従って実施をしていきたい。
- ・松江市長が言われた大橋川の話、湖岸堤の話については、予算要求の中でしっかり要求するべく最後の努力をしているところなので、いろんな意味での御支援をよろしくお願いしたい。

■出雲河川事務所長

- ・平井知事からのご指摘について、拡幅は、当然下流側の中海の方の対策をしてからという意味なので、しっかりとその旨申し上げておきたい。
- ・米子市長からの旗ヶ崎の関係は、内水対策と外水対策は一体的に考えなければいけない。
- ・現在、具体的な計算等をしており、具体的な結果が出たら、対策等について改めて協議をさせていただきたい。
- ・安来の南十神の箇所については、短・中期箇所という形で整理されているが、下流の方の施設

管理者である港湾の方との協議等もあるので、引き続きその辺の調整を進めさせていただければと考えているところ。

(2) 中海の水質及び流動会議（説明者：鳥取県生活環境部水・大気環境課）

【意見等】

■松江市長

- ・東出雲町の錦浜の沿岸などでも浅場造成をやっていただいているが、水質改善だけではなくて、水産資源についての検証みたいなことを続けていただいて、非常に効果があるということであれば、ぜひそれをこれからも進めてもらいたい。
- ・湧水の話は、これがどういう効果があるものなのか、まだはっきりしたことは出ていないが、ぜひこれは研究していただいて、例えばアカガイとかアサリとか、そういった水産資源の養殖なりに活用できるのではないかと思うので、調査を続けてもらえると大変ありがたい。

■米子市長

- ・今年度事業として新たに米子湾の流動等を調査し、その後、既存観測データと関連づけて流動解析を行って水質浄化対策の考察を行うということだが、流動と水質の関係は非常に複雑であるということ踏まえると、米子湾の流動等の調査は、現地観測と短期の連続観測に加えて、観測地点の常設化も必要なのではないか。
- ・完全に壊れたために出雲河川事務所で設置場所も含めて抜本的な対応を御検討されていると伺っている大海崎観測地点の流向・流速計についても、これを機にあわせて常設化の御検討をお願いしたい。
- ・森山堤の開削や西部承水路の撤去による効果について、評価及び検証は非常に難しく、期間も要することは承知しているが、今後の議論を深める上でも可能な限り中間報告的なものをお示しただけないか。

■境港市長

- ・中海の流域に係る下水道整備について、鳥取県の助成措置が平成17年の時点での認可区域で終了するというをお聞きしている。
- ・私どもの下水道計画は、終末処理場が美保湾側の一番米子の方にあり、そういった立地条件から、中海側の方の整備が一番最後のこれからの課題になっている。
- ・今、17年時点の下水道の認可区域、境水道沿いが大体終わり、これから中海の流域の渡町、外江町に入るといった時期に、流域に係る補助を打ち切るとするのは、補助制度を当初つくった趣旨に全く相反するのではないか。
- ・これから流域の整備に一生懸命かかるわけなので、ぜひ助成制度を継続していただきたい。

■鳥取県知事

- ・境港市長の件については、また調査させていただき、検討させていただきたい。基本的には中海の水質保全、流入負荷を減らすという観点から事業化されてきているので、ぜひ調査をさせていただきたい。
- ・湧水については、データを見ると、透明度が急速に改善しているナンバー9とかナンバー5とかがあるが、関係するものなのかどうか、確認をさせていただきたい。
- ・大海崎、森山堤の開削について、先ほどの話だと、反時計回りの流れは実現できていない、行ったり来たりの流れになっているが、全体のデータとして見ると開削の効果は認められるということではよかったのかどうか。

- ・全りんのデータについて、急速に今上がってきているところがナンバー1、ナンバー2、ナンバー5とあるが、これらは、大橋川の下流にあるように見えるが、このあたりの解析というものはあるのかどうか。

■鳥取県水・大気環境課長

- ・本庄工区の湧水については、私どもももう少し知見が要と考えているところ。
- ・平井知事の、弓浜半島の辺の透明度の改善と今の湧水の影響という点は、そのあたりのことについては、直接そのところが関連しているかどうかまではまだはっきりしていない。
- ・全りんが急激に上がっているという件は、やはりこれは表層のデータなので、多分この全りんにはプランクトンの数値がこれらに影響しているのではないかなと考えているところ。
- ・本庄工区については、中海のその他の区域と同じように底層の塩化物濃度が上がってきて、他の中海の区域と同じような状況になっており、貧酸素等による溶出も幾らか影響しているものかと考えているところ。
- ・森山堤の効果については、CODとかの有機物の負荷量だけを見れば、島根県側のここ5年ほど改善傾向が見られるのも森山堤開削の効果かなと思えるところだが、やはり、りんの方でも御説明申し上げたように、もう少し窒素やりんとの挙動も見てみないとそのあたりがはっきりしないという状況であり、もう少しこれらの挙動を見ながら判断をしてまいりたい。

■中国地方整備局長

- ・松江市長からの浅場造成事業について、私どもとしても、平成22年9月の河川整備計画に基づいて実施をしてきており、効果があるということであれば前向きに取り組んでまいりたい。
- ・大海崎の観測地点の常設化については、大海崎の方は現在、大橋川の改修に伴う水質シミュレーションの実施とか、森山堤開削に関する河川管理上の知見を得るために設けてり、常設化ということまでは言い切れないが、これはしばらく続くと思う。
- ・米子湾入口のものについては、河川管理上私どもがやるようないまい理屈があれば大変ありがたいが、今年度行われるシミュレーション等々の結果を見て、誰が実施するかということも含めて、後日判断するようなことでどうか。

■出雲河川事務所長

- ・大海崎の観測器は、9月復旧の形で進めている。

■鳥取県知事

- ・水質については、PDCAサイクルを回すためのモニタリングをしている。
- ・今回、いろんな知見があるが、よく分析をしてその水質改善の実が上がるように、国交省の施策とか、両県の施策とか、いろいろ関係するものがあるかと思うが、ぜひ有機的な対策づくりをしていただきたい。

(3) 中海沿岸農地排水不良ワーキンググループ (説明者：米子市経済部農林課)

【意見等】

特になし

(4) 中海の利活用に関するワーキンググループ (説明者：島根県政策企画局)

※併せて、「中海水産資源生産力回復調査の計画」について、鳥取県水産試験場から報告。

【意見等】

■島根県知事

- ・まだまだ初期の段階だが、これをさらにこの会議で進めていくことが大事なことではないか。
- ・検討中のアイデアも、マリンスポーツとかトライアスロン、いろんなことが提案されており、引き続きいろんな検討をお願いしたい。
- ・また、民間の方々などもこういう検討に加わっていただいて、幅広くおやりになることを期待する。

■鳥取県知事

- ・溝口知事の御指摘は大賛成。
- ・ぜひ中海を起爆剤にして、新しい観光、あるいは食文化につなげていただければ。

■松江市長

- ・藻については、うまく循環させていく方法を考えていかなければいけない。
- ・藻を刈るためには相当のエネルギー、機械も要るので、そういったことについて行政としてどういうふうに対応していくか。
- ・あまり行政がそれをやり過ぎると、結局その先のところで詰まってしまうということがあるので、民間の皆さん方とどういうふうにそこのところを連携していくかというところ、本当はこれが一番難しいところだが、ぜひ一緒になって検討していければ。
- ・随分昔から中海ライドという、中海のあたりを自転車で周遊するようなイベントをやっているが、なかなかPRが行き届かなくて、200名ぐらいの参加者は地元の皆さん方がほとんど。
- ・すばらしい景観でもあるし、大変サイクリングには適しているので、全国から集まってもらいたい。
- ・そうすると、さきほどのポータルサイトみたいなところを活用して、全国に発信してもらうこともぜひ検討してもらいたい。

■島根県政策企画局長

- ・藻の活用は、コストの問題は非常に大きな問題で、今実際にNPOの団体等にもお願いしており、この辺をどうやって削減できるか、あるいは販路をどうして拡大していくかということ、引き続き民間と一緒に検討してまいりたい。
- ・またサイクリングの方も、引き続きワーキングで協力して検討してまいりたい。